

Weekly Report 2023-2024



創 立 1969年4月14日
承 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I.T. 広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2565回	8月4日
納涼家族会（夜例会）			
担当者	親睦活動委員長	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2564回	7月28日
吉岡宏美ガバナー公式訪問			
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場	JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

こんにちは。
先週四国にも梅雨明け宣言がやっと出たようですが本来なら13日に出しておいてもよかったくらいの気温が続いております。どうぞ短い夏を気をつけつつ楽しんで頂きたいと思っております。

今日は吉岡ガバナーをお迎えし先程来、今期と来期の会長幹事で懇談会を行いました。貴重なお話をお伺いすると同時にクラブ運営についても非常にためになるお話を頂戴致しました。後ほど吉岡ガバナーから講評を頂戴したいと存じます。どうぞよろしくお祈りいたします。

さて、今年7月4日は地球の記録に残る日だったそうですがご存知でしょうか？その日は地球の平均気温が17.18度に達し、記録が始まった1979年以来で最も暑い日となっていたことがわかりました。原因は季節のサイクル、エルニーニョ現象、地球温暖化が重なったせいだったようですが、気象学者は科学的な分析により得られたデータから、過去12万5000年間の中でも飛び抜けて暑い日だったと推測しているようです。つまりそのままの温暖化傾向が続けば今後も記録が塗り替えられ続けるだろうと言うことです。

今朝の新聞にも7月1日から23日までの気温が同様であったとの記事がありました。

暑い夏をそんな暗い話と捉えるのがありますが夏が暑くないとこれも困ることになります。来週は納涼家族例会です。暑い夏を皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

吉岡幹事報告

回覧 グリーンロータリークラブの活動計画書が届いております。回覧をお願いします。

依頼 7月21日の理事会において、紙による出席確認を廃止することが決まりました。出席確認はfax並びにメールとなります。補完するためにデジタル出欠確認を開始しますので宜しくお願いします。

ビジター

ガバナー公式訪問ご一行

ガバナー 吉岡 宏美 様 ガバナー補佐 丹生 兼宏 様
随行者 後藤 浩久 様 灘井 裕紀 様

メイクアップ

7月25日 高松東RC 松岡 岩本 朝倉 藤田

7月26日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島

8月4日 今日は何の日	今日生まれの有名人
塩釜みなとまつり(宮城県)/竿灯まつり(秋田県) 1947年 最高裁判所発足 2005年 iTunes Store が日本でサービス開始	2001年 加藤清史郎 1971年 檀れい 1965年 布川敏和
誕生花	シスタス(別名 バイブルプラント)、花言葉は“人気”
誕生石	ダイヤモンド(diamond)、宝石言葉は“清浄無垢”

手に手つないで
手に手つないで つくる友の輪 輪に輪つないで つくる友垣 手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ 一つ心に おおロータリアン おおロータリアン



ニコニコBOX

ガバナー公式訪問、よろしくお祈りします。 ガバナー事務所
 本年一年よろしくお祈りします。 ガバナー補佐 丹生様
 吉岡ガバナー、公式訪問ありがとうございます。 磯崎
 吉岡ガバナーを歓迎！！ 村上
 加藤さんありがとうございました。 江島
 北海道で愛娘がよくがんばりました。 低田
 たくさんのお出席ありがとうございます。 川口
 大変申し訳ありません。早速させていただきます。 1件
 遅刻

合計 8 件	
本日 の 合計	32,500 円
2023-2024 年度 累計	97,000 円

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会員数 /	41 名	出席規準数 /	39 名
出席者数 /	27 名	欠席者数 /	12 名
出席率 /	69.23%	ビジター /	4 名
最終出席率 /	7 月 14 日	55.26% →	71.05%

高松西RC、高松グリーンRCとの合同コンペ

7月17日(月) 場所: 鮎滝カントリークラブ
 個人優勝→小竹会員 団体優勝→高松西RC



ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

2. 喧嘩口論するなかれ

Go about your common tasks together, avoid discussions of dissentious subjects, and your reward will be friendship.

手を携えて共通の仕事に精出せ。喧嘩になる様な問題は論議するな。そうすれば友情という御褒美が出る。

ポール・ハリスはロータリー誕生前夜の社会問題として、信教の自由について一章を費しているが、この言葉の背景となる一番大きな問題は宗教と政治であろう。dissentious という表現自体、単なる difference of opinion ではなく、多分に宗教的な強いニュアンスを持っている。それは喧嘩になる様な大問題なのだ。Dissenter と大文字で書けばイングランドやスコットランドの非国教徒、国教反対者のことを意味する。

ロータリーでは伝統的に宗教と政治を論ずることをタブーとしているが、その由って来る所は、苛烈な宗教と政治の闘争——それこそ生命をかけた争いを経験してきた民族でなければ本当に理解出来まい。日本にはキリスト教という伝統がないから、ロータリーが本当に身についたものにならないのだ、という批判はこの点に関して一面の真理を衝いていると思う。ニュー・イングランドやメリーランドの初期開拓者達の、我々には想像も及ばない様な反ピューリタンに対する刑罰を知っている者にとって、カソリックもプロテスタントも、ユダヤ教もモルモン教もイスラム教も、ありとあらゆる信仰の異なる人々が相集って、そこに友情が生まれるなどということがどうして考えられるか。その辺の心理は我々日本の宗教風土からは思い及ばないものがある。その意味に於てロータリーに対する理解の仕方に、彼我の相違が出てくるのもやむを得まい。だからと言って日本のロータリーの次元が低いなどとは私は思っていない。この問題ばかりがロータリーのすべてではない。ロータリーは色々の顔を持っているのだ。

ところでこのポールの言葉の背景に宗教と政治があったとしても、彼は決してこの教訓を宗教と政治に限定して適用しようとしているわけではない。「この教訓は仲間が増えれば増える程念資尊重されなければならぬ」と彼は付け加えているが、仲間が増える程意見の相違を来す機会も多くなるからだ。また彼は言っている—現在の十五万の会員中ただ二人でさえ完全に意見が一致するなどということはない。人はその顔が皆違う様に考えもそれぞれ違うのだと。

それならロータリーでは何も議論してはいけないのか？ 相手の見解は馬耳東風と聞き流しておけというのか？ 中にはこれをもってロータリーの態度とする人がいるが、いかななものだろう。ポールの言わんとする所は、話し合うことはお互いを理解する前提として大事なことだ。然し平行線になる様な議論はするな。そんなことになりそうだったら、それは棚上げして当面一緒にやらなければならない仕事に取り組み、ということだろう。これは処世のすべてにあてはまる。不毛の論議をしてもつまらない話だ。

なお、これに関連して思い出されるのは、国際ロータリー理事会の決定が、属^{^^} recommended = 推奨されている =、encouraged = 奨励されている =、urge = 勧告する =、inadvisable = 望ましくない =、not adverse = 反対するものではない =、と言った様な軟い表現でなされていることである。これも多くの人の意見の相違を念頭に置いた上でのことだろう。

※ ポール・ハリスの名著 “This Rotarian Age” の中から故佐藤千寿PGが選りすぐった箴言、名言28を、解説を付けて出版した「ポール・ハリスの言葉」から

次週のプログラム 第 2566 回 8 月 25 日

客話：未来を拓けるか？ 「NPO法人ミライキッズとは」 法人顧問 橋村 豊春 様

担当者	プログラム委員長	例会場	JRホテルクレメント高松
-----	----------	-----	--------------